



SERVE TO CHANGE LIVES



**クラブ会長ターゲット**  
「ロータリアンとしての成熟」  
"REACH MATURITY  
AS A ROTARIAN"  
2021-2022年度  
東京臨海ロータリークラブ会長  
佐藤 大輔



**国際ロータリーテーマ**  
「奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために」  
"SERVE TO CHANGE LIVES"  
2021-2022年度  
国際ロータリー会長  
シェカール・メータ



**衛星クラブ議長ターゲット**  
「クラブライフを楽しもう」  
"Enjoy club life"  
2021-2022年度  
東京臨海北斗ロータリー衛星クラブ議長  
坂本 康朋

2022年6月1日

東京臨海 RC 【第1240例会】  
東京臨海北斗 RSC 【第49回例会】

東京臨海RC

創 立：1994年8月8日  
会 長：佐藤 大輔  
副 会 長：杉浦 孝浩  
幹 事：勝間田 健一  
プログラム  
構成委員長：田中 紘太  
(会報担当)

東京臨海北斗RSC

創 立：2020年12月18日  
議 長：坂本 康朋  
副 議 長：小松 啓祐  
幹 事：勝間田 健一

### 6月1日の卓話

「イニシエーションスピーチ」  
東京臨海RC会員 佐藤 正樹様  
東京臨海RC会員 村社研太郎様

### 6月15日の卓話

「イニシエーションスピーチ」  
東京臨海RC会員 高橋 映治様  
東京臨海RC会員 本多 信雄様

### 《2022年5月25日例会報告》

東京臨海 RC 第1239回

東京臨海北斗 RSC 第48回

司会：櫻田会員

- 点鐘：東京臨海 RC 佐藤大輔会長  
東京臨海北斗 RSC 坂本康朋議長



- ロータリーソング斉唱「日も風も星も」  
：ソングリーダー：今井会員
- 「四つのテスト」斉唱（歌）
- 「ロータリーの目的」東京臨海 RC 抜萃 Ver. 唱和  
：杉浦副会長



- 来賓・ゲストスピーカー紹介：佐藤大輔会長



第2580地区ローターアクト代表エレクト  
東京池袋ローターアクトクラブ会長  
春木優杏様

- ビジター紹介：寺田雄司会員  
嶋村文男様（第2580地区ガバナーエレクト・東京東江戸川RC）  
森脇 剛様（吉成会員ゲスト）  
坂井隆浩様（吉成会員ゲスト）  
里美義久様（吉成会員ゲスト）  
川上哲司様（大阪天王寺RC）

■ 会長報告：佐藤大輔会長



- ・ご挨拶：嶋村文男第 2580 地区ガバナーエレクト
- ・本日は、青少年奉仕部門フォーラムを開催いたしますので、卓話は行わず、例会を 13 時で閉会させていただきます。
- ・井上晴貴様が、ロータリー財団・ベネファクターになりました。認証状とピンを贈呈いたします。



- ・東京 RC 様は、10 年間続けてこられた「東北すくすくプロジェクト」を今年度で終了し、締めくくりとして活動をまとめた報告書を作成されたそうです。報告書を回覧致します。

■ 幹事報告：勝間田幹事



- ・来週 5 月 31 日（火）は、地区大会です。詳細を昨日会員皆様に送付いたしました。当日登録もできます。

■ 委員会報告

- ・青少年奉仕委員会（本多委員長）



本日、例会後、13:05 より「青少年奉仕部門フォーラム」を開催致します。会員皆様の出席をお願い致します。

・ 櫻田ゴルフ幹事

「東京臨海 RC・東京臨海北斗 RSC 懇親ゴルフ大会」を 6 月 21 日（火）江戸崎カントリー倶楽部で開催致しますので是非ご参加ください。参加頂ける方は、5 月末までにお申込みをお願い致します。

■ 出席状況報告：榎本副委員長



東京臨海 RC

会員数：62 名  
出席：44 名  
欠席：18 名  
出席率 70.97%

東京臨海北斗 RSC

会員数：21 名  
出席：12 名（例会場：1 名 ZOOM：11 名）  
欠席：9 名  
出席率 57.14%

■ ニコニコ BOX 報告：伊佐委員



（ご意向）本日は、次年度地区ローターアクト代表 春木優杏君の応援のメーキャップです。よろしく願います。：嶋村文男様（第 2580 地区ガバナーエレクト・東京東江戸川 RC）

（ご意向）本多委員長、青少年奉仕フォーラム ビシッとよろしく願います。：佐藤会長、杉浦副会長、勝間田幹事、小松啓祐会員、小林健一郎会員、金城会員、井上会員、今井会員、寺田雄司会員、須藤会員、櫻田会員、工藤会員、田村会員、柴田会員、齊藤会員、米衛会員、佐久間裕章会員、伊藤会員、熊澤会員、村社会員、渡辺会員、高橋会員、入澤会員、吉成会員、諫山会員、榎本会員、佐久間栄一会員、秋田会員、酒井会員、白幡会員、山田晃久会員、坂本康朋会員、今会員、太田会員、大西会員、白井会員、内海会員、虻川会員、大澤会員、伊佐会員

（ご意向）本日の青少年奉仕部門フォーラム、会員の皆様よろしく願致します。：本多会員

【40 件 59,000 円 今年度累計 1,772,000 円】

■ 卓話

本日、卓話はありません。休憩を挟んで「青少年奉仕部門フォーラム」を開催致します。

- 点鐘：東京臨海 RC 佐藤大輔会長  
東京臨海北斗 RSC 坂本康朋議長



## 2021～2022 年度 東京臨海 RC 青少年奉仕部門フォーラム報告

<2022 年 5 月 25 日 (水) 13:05～14:15>

司会・進行 青少年奉仕委員会 本多信雄 委員長  
開 会

1) 会長挨拶：佐藤 大輔 会長



2) 青少年奉仕委員長挨拶 (趣旨説明・進行)：本多 信雄 委員長

3) 卓話

演題：ローターアクト ～54 年目の新たなる歩み～

卓話者：

2020～2022 年度 東京池袋ローターアクトクラブ

クラブ会長・地区ローターアクト代表エレクト

春木 優杏 (はるき うきょう) 様



はじめまして、東京池袋ローターアクトの春木と申します。今日は、東京臨海 RC の青少年奉仕部門フォーラムにお招きいただき、またこのような形でローターアクトについてお話する機会をいただき、ありがとうございます。初めて訪れるクラブでの卓話ですので、非常に緊張しております。

さて、ローターアクトのことについてお話する前に、私の自己紹介をいたします。私は、東京池袋ローターアクトクラブから参りました、春木優杏 (はるきうきょう) と申します。今年度は会長に加え、地区ローターアクト代表エレクトということで、次年度は地区組織の代表をする予定です。出身は兵庫県で、24 歳まで兵庫に居りました。就職の関係で 2 年前の 4 月から東京に住んでおります。ロータリーに出会ったきっかけは、たまたま入った中学校にインターアクトという部活があり、先輩に誘われて入部したのがキッカケです。2011 年 3 月、ちょうど高校に進学する直前に東日本大震災が発生し、高校 3 年間はインターアクトの活動で東北に何度も訪れました。高校卒業後に姫路にキャンパスのある大学に進学したのですが、そこでもローターアクトがあり、いろいろな縁があって大学・大学院の間はローターアクトをやっていました。今は、日本気象協会という、民間の天気予報会社に勤めています。マスメディアやサイネージ、アプリなどに気象情報を提

供する仕事をしております。よく天気予報というとお天気キャスターを思い浮かべるかたが多いのですが、非常に一握りです。それでは、「ローターアクトとは(初級編)」ということで、私達ローターアクトの基礎知識や、普段の活動内容などについてお話いたします。

### ①ローターアクトの基礎知識

まず定款に書かれている、ローターアクトの目的についてです。非常に長い内容なのですが…。

「学生と若い職業人が、地元と海外における課題へ持続可能な解決を生み出す社会奉仕と国際奉仕を通じて行動し、職業的ネットワークを広げ、リーダーとアイデアを交換し、世界各地で永い友情を培うためにロータリーのグローバルコミュニティと結びつき、地域社会と世界のリーダーとなるためのスキルを養い、地元と海外に友人を作り、「超我の奉仕」の重要性を認識しつつ、楽しむこと」とあります。ロータリーのルールに書かれていることってどうしてこんなに理解しづらく難解な言葉で書かれているのでしょうか…。それはさておき、いくつか要素があるのですが、特に最後の「楽しむこと」というのが個人的には最も重要な要素だと思います。ここで一つ皆様に聞きたいことがあります。ロータリアンの皆さんはどうしてロータリーで活動されるのでしょうか？個々人によって様々な動機・目的があると思いますが、やはり活動して楽しいと感じているからなのではと思います。家族・職場とはまた違った例会場という空間で、気のおけないメンバーと楽しくテーブルを共にしながら時を過ごす。親睦は奉仕のパワーともいいますが、やはりこの「楽しい」という要素がなくてはならないと思います。ローターアクトも全く同じく、楽しい活動をすることが全ての原点です。1989-1990 年の RI テーマは「Enjoy Rotary」だったそうです。私達も日々、「Enjoy Rotaract」となるべく、活動しております。

さて、先程の定款の目的を要約すると、スライドのとおりです。まず構成員、「18 歳以上の若者 (大学生・社会人)」とあります。ローターアクトの対象年齢は、18 歳以上の若者 (原語: young adult) とされています。過去には 30 歳までといった年齢制限も有りましたが、現在は撤廃されています。クラブにもよりますが、概ね 35 歳くらいまで延長しているクラブが多いと聞いています。

次に、「社会奉仕・国際奉仕を通じた行動・実践をすること」について。ロータリーと同じく、私達も奉仕活動を行うことを主眼にしています。ローターアクトの語源なのですが、「Rotary」+「Action」から来ています。ゆえに、ローターアクトではとにかく「現場主義」的、かつ「実践しよう」という風土があります。実際に社会の諸課題に対して、その課題の認知から解決策の検討、実行に至るまで、若者たち自らが携わっています。ただ、ロータリーと同じく、「奉仕すること」が目的ではありません。ここが重要です。

さて、次に「職業的ネットワークを広げ、ロータリーの

コミュニティーと結びつくこと」とあります。ロータリーと同じく、会員同士の交流を通じ、友愛の精神が芽生えることによって、かけがえのない友達や親友、仲間を作ることができます。かつての伝統的な社会通念や価値観が変化してきている現代において、それぞれの職場や家庭といった、限られた小さなコミュニティーにのみ属する方が多くなっているのではないのでしょうか。私は兵庫に居たときに、とあるロータリアンと「人生の目標は何か」という深いテーマについて対話をしていました。そのロータリアンは、「私たちの目標は渡れる橋をたくさん持っていることを目指します。渡れる橋が多いほど、人生に彩りが増えます。」といました。まさにロータリーやローターアクトは、この「橋」を増やすことができる団体だと思えます。

最後に「スキル(専門能力・知識)とロータリーの奉仕の理念を養うこと」。前者のスキルについて、これはローターアクトでの活動を通じて、運営力を養うことができます。ロータリーと同じく会長・幹事・会計・各委員長という役職はありながらも、ローターアクトには事務局がありません。ゆえに例会や行事のあらゆる連絡・調整・資料作成・当日の対応などの全てを、ローターアクターが自ら行います。一言でいえば段取り力、人を動かす力、巻き込む力などを実践しながら学ぶことができます。仕事では失敗は許されないかもしれませんが、ローターアクトでは失敗も大歓迎です。失敗しても多くの気付きや学びが得られます。さらに、それらを糧に、次にむけて挑戦する機会がたくさんあります。ただ、私はどちらかというところ後者の「奉仕の理念」の養成の方が重要に感じます。これが最もローターアクトが他のボランティアサークルやNPO/NGOと異なる点だと思っています。このロータリーの実践哲学、これに若い間に触れられるのはローターアクトだけだと思います。年齢や性別、職業を問わず誰もが「人の役に立ちたい」もしくは「自らの利益を追求したい」という一見すると反する欲望・欲求を抱いて生きています。ローターアクトでの活動は、少なからずこれらの答えのない問いについて触れ、考え、悩むことができる機会が多くあります。

さて、ここまで多くのことをお話しましたが、ローターアクトを一言で纏めるとなんでしょうか。ローターアクトにはこのような標語(=モットー)が定められています。「Fellowship through service. (奉仕を通じた親睦)」です。ロータリーでもこの2つについては様々な議論があると推察しますが、このローターアクトのモットーは非常にシンプルにロータリー運動を表現していると思います。また、今の定款には書かれていないのですが、その目的および目標として「リーダーシップの養成」「他者の権利を尊重する観念を養うこと」「あらゆる有用な職業の道徳的水準・品位を保持、推進すること」などが挙げられていました。つまりただ単にボランティアをする団体でも、エリートを育てるだけの団体でもなく、紛れもなく「人を育てる」ことに主眼が置かれています。

次に、このローターアクトのルーツについてご紹介します。戦後、ロータリーではクラブの自由意志に基づいて、地域レベルで様々な青少年クラブを発足させたり、支援したりしていました。青少年育成・人材育成の機運が高まる中、RIレベルでもこれらの動きを捉え、1962年にインターアクト・プログラム(対象年齢:12~18歳)が始まりました。しかしインターアクトを卒業すると、それまでのロータリーとの関係がなくなってしまうという問題がありました。そこでIAの次のステップとして1968年にローターアクト・プログラムが始まりました。

そんなローターアクトとロータリーの位置づけについてです。直近の2019年の規定審議会において、決議19-72が採択され、RIの構成員にローターアクトも加盟したわけですが、実際のところまだ大きく変わった地区やクラブは多くないため、既存のスタンダードな位置づけとしてご紹介します。まずご存知のとおり五大奉仕がありますが、そのうち2010年に追加された最も新しい青少年奉仕に属します。この青少年奉仕のプログラムには、①インターアクト(12~18歳、主に中学校・高校の部活動として)、②RYLA(地区によるが14~30歳、リーダーシップ養成のための2~4日程度の短期プログラム)、③青少年交換(15~19歳、約1年間の海外への交換派遣留学)があります。ローターアクトもかつてはこの青少年奉仕プログラムでしたが、今はRIの構成要素と位置づけられました。

そして、次にデータを見ていきましょう。今、全世界中にローターアクトは約11,000のクラブがあり、約20万人のローターアクターがいるとされています。単純計算で1クラブあたり20名ほどとなります。ロータリーの会員が120万人と言われていたから、その1/6程度の数の若者が、ロータリーと同じ志をもって日々活動しています。

さて次は、この2580地区のローターアクトについてです。2022年2月末のデータですが、16クラブあり、約200名の会員が所属しております。中央分区に3クラブ、北分区に6クラブ、東分区に4クラブ、武蔵野分区に1クラブ、沖縄分区に2クラブ存在します。またクラブには地域基盤・大学基盤の2種類があり、2850地区には大学基盤RACが1クラブ(嘉悦大学RAC)、地域基盤が15クラブあります。

ローターアクトの活動の基本は、月に2回の例会です。米山梅吉が「例会は人生の道場」と語られたように、ローターアクトの例会も若者にとっての道場です。集まって卓話を聞いておしまいではなく、参加者にとって意味・価値のある時間にするような創意工夫が散りばめられています。また、会員相互の親睦の機会としても、例会はローターアクトの基礎ともいえる活動です。また委員会もごぞいます。ロータリーと少し異なる名称のものもありますが、会員は希望する委員会に所属

し、例会や行事、プロジェクトの立案・実行を担当しています。

そして、クラブの壁を超えて、地区の活動もごさいます。会長エレクトセミナーや研修、地区年次大会、清掃活動や植樹活動といった様々な奉仕事業を地区レベルでも活発に行なっております。さらに地区を越えた活動として、関東ブロック研修会や全国のローターアクターが一堂に会する全国研修会、さらには国境を超えた様々な交流会・会議がございます。

最後にロータリアンの皆様をお願いしたいことがございます。

①ぜひ、社員さんや家族・親族でローターアクトの年齢に当てはまる方がいらっしゃればご紹介をいただけませんか。我々も仲間を増やすことで、より幅の広い活動をすることができます。東分区には4クラブございます。ローターアクトを提唱していなくても、紹介はできます。ぜひご検討ください。

②ロータリーの奉仕事業などでご協力できることがあれば、お声掛けください。

③ローターアクトの活動にぜひ遊びに来てください。若返り効果があるかどうかは定かでは有りませんが、多くのロータリアンが「若者と活動することで、ロータリアンとしても活力を得られる」と口を揃えます。私達ローターアクターもロータリアンから学ぶことがたくさんあります。世代を超えて、共に活動できればと思います。

④Facebookをされている方、ローターアクトのページがございますので「いいね」をよろしくお願ひします。

かつてポールハリスが国際大会でスピーチしたことばに「樫の大樹も小さなドングリから育ちます。41年前に植えられた小さなドングリは、大きなたくましい樫の木になりました。」とあります。ぜひ、次の種を蒔いてはいただけないでしょうか？必ず芽を出し、実を結ぶとは言えません。しかし種を蒔くことをしなければ木は生えません。今日お伝えしたことはローターアクトの魅力の一部に過ぎません。百聞は一見にしかず、まずは例会にお越しになってください。そこでRACのパッションと可能性を感じ取ってください。ぜひローターアクトの“楽しい活動”に触れていただければと思います。私はローターアクトが大好きです。ぜひ皆さんにもローターアクトを愛していただきたいと思ひます。本日は短い時間でしたが、お話する機会を与えてくださり、本当にありがとうございました。これからもローターアクトクラブをよろしくお願ひします。

#### 4) 東京臨海ロータリークラブの取り組み

①江戸川区学童オレンジボール大会について  
社会奉仕委員会・オレンジボール担当：  
村社 研太郎 副委員長



②子ども食堂・学習支援「NPO法人らいおんはーと」について

青少年奉仕委員会 佐藤 正樹 副委員長



③パラボールリーグの日程について

5) 会員皆様より、体験・感想など一言



6) 講 評：勝間田 健一 幹事



7) 閉会挨拶：杉浦 孝浩 副会長



# 春の家庭集会報告

## 第7グループ議事録

期 日：2022年5月19日（木）

テーマ『ロータリアンとして成熟するには』

参加者：（敬称略）

リーダー：鈴木 サブリーダー：小松（啓）

臨海 RC：金城、吉成、白幡、菅澤

臨海西 RC：継岩、大星

### ◆小松

まずは、ロータリークラブを好きになること。そのためには、難しい中でも出来る限り、例会に参加することが最初のポイントだと考えている。色んな人と出会って交流を持つことによって、どんどんロータリークラブ及び臨海ロータリークラブが好きになっていく。一つ一つ経験して行くことが自分自身の血となり、肉となり成熟していくことに繋がるのでは、と考えている。

### ◆金城会員

まずは、例会に参加する。『自分を変えたい』と言う思いの中で、ロータリークラブという格式が高く、緊張する環境を良い事として、沢山の人と出会い、交流していきながら役割を担うことで成熟していくのでは、と考えている。

### ◆吉成会員

4つのテストを毎回歌う中ですごく頭に入って残ってくる。それが一番大事だと感じている。私の場合は、すでにロータリーが好き。やはりロータリーを好きになることが一つのステップだと思う。好きになると言うところは、クリアできているので、4つのテストを念頭に成熟していきたい。

### ◆継岩会員（臨海西）

例会に出ることが大切。更に言うと例会に出るだけでなく、少し早く出ること、意義のある交流が出来る。色んな奉仕活動がある中で、義務である会費を払うだけでなく、バギオ訪問や各奉仕活動に参加することで、理解を深めて成熟していけるのでは、と考えている。

### ◆大星会員（臨海西）

ロータリーには親睦と奉仕と言う大きな2つのテーマがある。親睦については、当初、皆んなと仲良くなれるのかな？という思いがあった。しかしながら例会や懇親会に参加する中でどんどん思いが変わっていった。新しい会員さんには、自分がロータリーで好きな部分を伝えて行きたい。結果、自分のロータリーに対する気持ちが成熟してい

くと考えている。

奉仕については、自分の事業を伸ばしながら、ロータリーという大きなスケールで奉仕活動が出来るので、貴重な体験が出来る。結果、成熟に繋がると考えている。

### ◆白幡会員

ロータリーに入った当初は第一印象で、すごく圧倒されて疎外感を感じた。しかし、それはロータリアンとして成熟するための過程だと自負していた。その中で自分の価値感のみで選り好みせずに、色んな人と交流を持つ中で個人としてロータリーとして成熟に繋がるのではと考えている。

### ◆菅澤会員

出逢いにつきると思う。色んなメンバーがいる中で、目標にしたい人物、興味のある人物をロータリーと言うルールとネットワークの中で感じながら繋がることで、成熟していく一つになると考えている。

### ◆鈴木会員

成熟＝成長の過程であり、完成とは違う。大切なことは、『ロータリアンとして、こうなりたい！』と言う所から始まる。許す心、我慢を通じて心がおおらかになり、成熟出来るのでは？自分の目指すものを決め、見極めようと言う所に向かう。成熟に終わりはない。目的と目標の違い。『こうなりたい！』と言う目的があるから、『そうなる為にはこれをする！』と言う目標がある。親睦と奉仕については、『はじめまして。』ではなかなか親睦出来ない。まずは例会に来て仲良くなってから親睦と奉仕がはじまる。この積み重ねがロータリアンとして成熟に繋がると考えている。

（記、小松啓祐）

## 第1グループ議事録

期 日：2022年5月25日（水）

テーマ『ロータリアンとして成熟するには』

参加者：（敬称略）

リーダー：佐藤大輔 サブリーダー：井上晴貴

メンバー：岩楯、吉田（北斗）、伊佐



- ◆例会の中で「成熟とはロータリーを継続すること」という言葉は大変勉強になった。
- ◆例会もなかなか出席ができないが、自事業を伸ばして社会貢献や奉仕につなげていけたらよいと考えた。
- ◆いろいろなメンバーと新しいことが出来るのが楽しい。自事業のことをもっと知りたい、知ってほしい。そのために何かコラボして活動出来たらいいなと思う。
- ◆震災後の福島に転勤して社会貢献の大切さを身に染みて思った。江戸川区のために何が出来るのか。何かできることはないか。よりよい医療の提供に向けて活動していきたい。大きな会社も小さな会社もできることは沢山ある。常に四つのテストに適っているかどうかを考えるようにしている。
- ◆昨年度は会員増強に成功したので、成熟することをテーマとして掲げた。成長ではなく、なぜ成熟だったのかは、簡潔に言うと、成長は物理的に成長するのだが、成熟は精神的にも成長していくこととして成熟を取り上げた。ロータリーの面白さや、楽しさの分野は人それぞれであるが、様々な面白さがあるので、様々な分野を知ることでクラブ活動も楽しく変化していく。世の中の役に立てる一人一人違う感じ方、考え方を活かして、様々な人と関わって、行事に参加してもらえると楽しみの実感につながります。

(記、井上晴貴)

### 第8グループ議事録

期 日：2022年5月25日(水)

テーマ『ロータリアンとして成熟するには』

参加者：(敬称略)

リーダー：高橋映治 サブリーダー：大西洋平

臨海RC：秋田、栗山、櫻田

◆秋田会員：入会間もない会員が大勢いるクラブとして元気はいいが、社会的にみられる側の立場としての自覚があるかどうか、行動を律することができるかどうか、それを各自醸成できるように、出来ていない人がいればそれを促す相互関係を意識するというのがまず第一義的にあると考える。そこを達成したうえで、第二義的に五大奉仕を意識して行動できるロータリアンとしての成熟を促すという二段階の意味があると捉えている。

◆大西会員：「自覚」という言葉が最も意識されるように思う。ロータリーの活動に参加したり、仲間をクラブに招聘したりすることで、ロータリアンとしての「自覚」が芽生え醸成されていくことが、ロータリアンとしての成熟ということだと捉えている。

◆栗山会員：4つのテストが素晴らしいという思いを持ち、それを日々事務所に掲示しながら、意識的に行動を律して行動規範としている。今は「意識的」な行動であるが、これが自分のものとなり「自然」にできるようになるのが成熟なのではないかと考えている。

◆櫻田会員：これまでは自分中心で、自分が一番大事というベクトルで仕事を始めて独立しても変わらず

「内」だけに必死に走り続けてきた。しかし、ロータリーを通じて、利他の視点つまり「外」へのベクトルに気づけたことに感謝している。その「内」から「外」への視点、目配り気配りが出来るようになることが、成熟という意味であると考えます。

◆高橋会員：ロータリーの奉仕とは、確かに「外」への倫理活動であると思う。ライオンズクラブは、クラブ「全体」で奉仕するという考え方。ロータリークラブは、「個人」個人が奉仕をしていくという考え方で違いがある。ロータリークラブに長く属していると、「外」への奉仕活動ということを通じながら、実は自分磨きという「個(=内)」の要素が増えてくる。地区の活動等に参加することで徐々にそれに気づいてきた。「超私の奉仕」等、4つのテスト以外にもロータリーで大事にしている言葉がいくつも出てくる、これから触れることもあると思う、その中で「個(=内)」の要素も意識することが出てくるであろう。その先まで行くことがロータリアンとしての成熟の目指すところなのかもしれない。

(記、秋田将宏)

### 第6グループ議事録

期 日：2022年5月26日(木)

テーマ：ロータリアンとして成熟するには

参加者：敬称略

リーダー 斉藤 サブリーダー 佐藤(正)

臨海RC 酒井・柴田・太田・今井・工藤・内海

臨海北斗RSC 倉田・濱田・橋本

臨海東RC 鈴木孝親

- ◆一つ一つ係り等で積み重ね、はい、YES、喜んで受ける事で成熟する
- ◆ロータリーの友を熟読し、役を必ずやること、親睦のみでも奉仕につながる
- ◆地区に積極的に出る事により成熟する
- ◆最初皆で歌を歌っている事が衝撃的でしたが、今は指揮者に成って居るので成熟した
- ◆会社を高潔的にする事で社員が磨かれ自分も磨かれる
- ◆地区に出る事によって見聞が広がる
- ◆10年前は尖っていたが、人との出会いの中で多様性や、例会の雑用で磨かれた
- ◆会社でも例会のやり方を覚えて、会社とロータリーは一枚岩で良くなり優しくなれて強くなる事が出来、奉仕の機会が増える
- ◆産業廃棄物処理で高潔なイメージの会社になりたい
- ◆今までは会社グループの中だけでボランティア活動をしていたが、別の世界の色々な人と係り成熟していきたい

(記、太田智久)

### 当クラブ例会変更

6月8日(水)は、休会です。